

ZOOM を活用した LIVE 授業についてのアンケート調査概要

アンケートの概要

目的：ZOOM を活用した LIVE 授業について CS 分析を用いて検証し、ZOOM での授業活動における各キャンパスでの改善点を探索する。

調査日 令和 2 年 6 月 23 日～6 月 30 日（WEB の専用入力フォームにて回収）

対象者 学部通学生 960 名

蓮田キャンパス 健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科 313 名

岩槻キャンパス 看護学科・リハビリテーション学科 613 名

方法 UHAS@MYCAMPUS から学生に案内、WEB のアンケートフォームより匿名での回答を依頼

回収 430 票（回収率 44.8%）

蓮田キャンパス 健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科 104 票（33.2%）

岩槻キャンパス 看護学科・リハビリテーション学科 326 票（53.2%）

表 1 学年別回収率

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
蓮田	31.6%	40.7%	30.5%	32.4%
岩槻	58.4%	57.0%	45.2%	49.6%

分析結果の概要

両キャンパスに共通して、音声の聞き取りやすさ、学生からの質問・発言機会を増やす工夫が優先的な改善項目として示された。学生のネット環境も関連するが、教員の使用機器（ヘッドセットの使用等）の見直しや話すスピード等の工夫なども授業の満足度向上に効果的と思われた。また、何らかの形で学生からの発言や質問機会を増やす工夫も満足度の向上に役立つものと思われる。今後のオンライン授業について上記の点の改善に取り組む。

CS（顧客満足度）分析

(1) 各質問項目の集計

各質問項目について5が最も肯定的な評価

選択肢4・5をよい、選択肢3を普通、選択肢1・2を悪いとして3段階に分類して集計。割合で示したものが図1、図2。

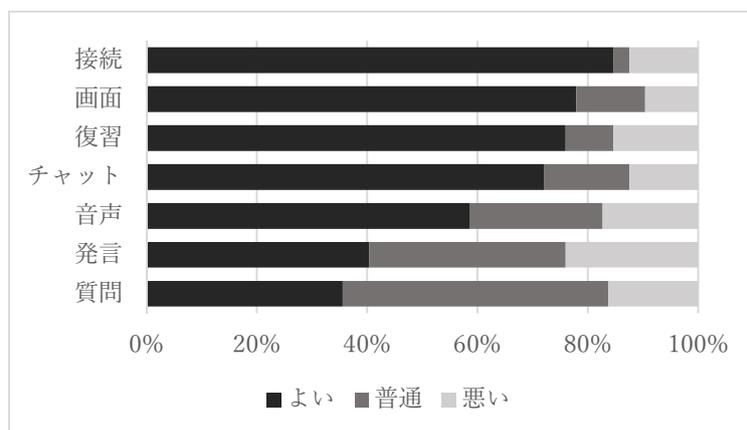


図1 蓮田キャンパス (n=430)

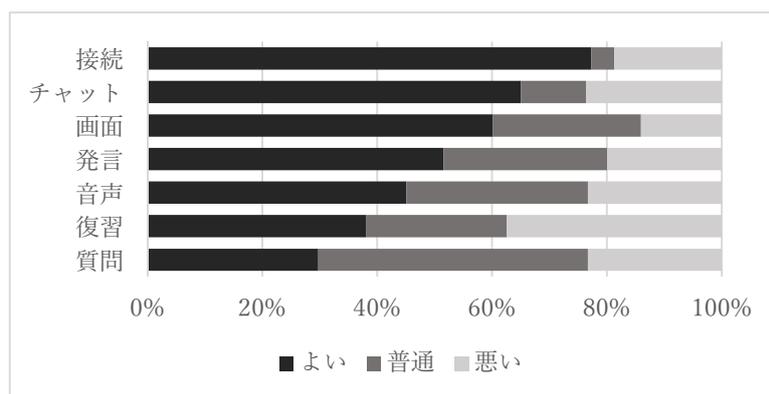


図2 岩槻キャンパス (n=430)

-
- ・【接続】 ZOOM への接続がスムーズにできたか
 - ・【画面】 ZOOM の画面は見やすかったか
 - ・【音声】 ZOOM の音声は聞きやすかったか
 - ・【発言】 ZOOM 授業で発言機械はあったか
 - ・【質問】 ZOOM 授業で質問はできたか
 - ・【チャット】 ZOOM でチャット機能を利用したか
 - ・【復習】 ZOOM 授業の録画を復習に活用したか

(2) CS分析における満足度

各項目において「よい」と回答したものの割合を算出し、満足度としてまとめたものが表

2. 蓮田では ZOOM への接続のしやすさや画面の見やすさ、録画した授業の復習への活用について満足率が 70%以上となりサービス質が高かったものと推測できる。岩槻では接続のスムーズさが 70%以上となった。

表 2 各項目の満足度 (n=430)

	接続	画面	音声	発言	質問	チャット	復習
	n.s.	**	*	*	n.s.	n.s.	**
蓮田	84.6%	77.9%	58.7%	40.4%	35.6%	72.1%	76.0%
岩槻	77.3%	60.1%	45.1%	51.5%	29.8%	65.0%	38.0%

※* $p < .05$ 、** $p < .01$ 母比率の比較は R3.6.2 prop.test 関数を使用

(3) CS 分析における重要度

総合評価(全体的な満足度)との相関係数を示したのが表 3。表 4 を参考にすると、ZOOM 授業において学生の総合評価は接続のスムーズさや画面の見やすさ、音声の聞きやすさと相関がある (蓮田キャンパス)。

表 3 各項目の重要度 (総合評価との相関係数)

	接続	画面	音声	発言	質問	チャット	復習
蓮田	0.51	0.58	0.49	0.16	0.24	0.08	0.30
岩槻	0.29	0.39	0.37	0.24	0.28	0.13	0.10

表 4 相関係数の目安

相関係数	相関の強さ
0.0~±0.2	(ほとんど)相関がない
±0.2~±0.4	弱い相関がある
±0.4~±0.7	相関がある
±0.7~±0.9	強い相関がある
±0.9~±1.0	(ほぼ)完全な相関がある

(4) CS 分析による改善項目の抽出

(2)、(3) で算出した満足度と重要度を一つのグラフにまとめたものが図 3、図 4。表

2の満足度を縦軸に、表3の重要度を横軸にとっている。また、両者を同じ尺度で比較できるように偏差値に換算して数値は標準化されている。

CS分析では、満足度と重要度が均衡している対角線（点線）より右下にあるものは、重要度に比べて満足率が低いものであるため、優先的な改善項目とみなされる（●）。また、これらの図において縦軸・横軸の偏差値50を中央として図を4つに分割し、右下に位置するもの（赤字）はさらに重要度が高く、満足率が低い項目であり、このエリアにプロットされているものは最も優先的な改善項目として示される。

蓮田キャンパス（図3）は音声の聞きやすさの改善が優先の改善項目であり、学生がよりたくさん、気軽に質問・発言できる工夫などが次善の改善策と思われる。岩槻キャンパス（図4）では、音声の聞きやすさや学生がより気軽に質問できる工夫が優先の改善項目であると思われる。

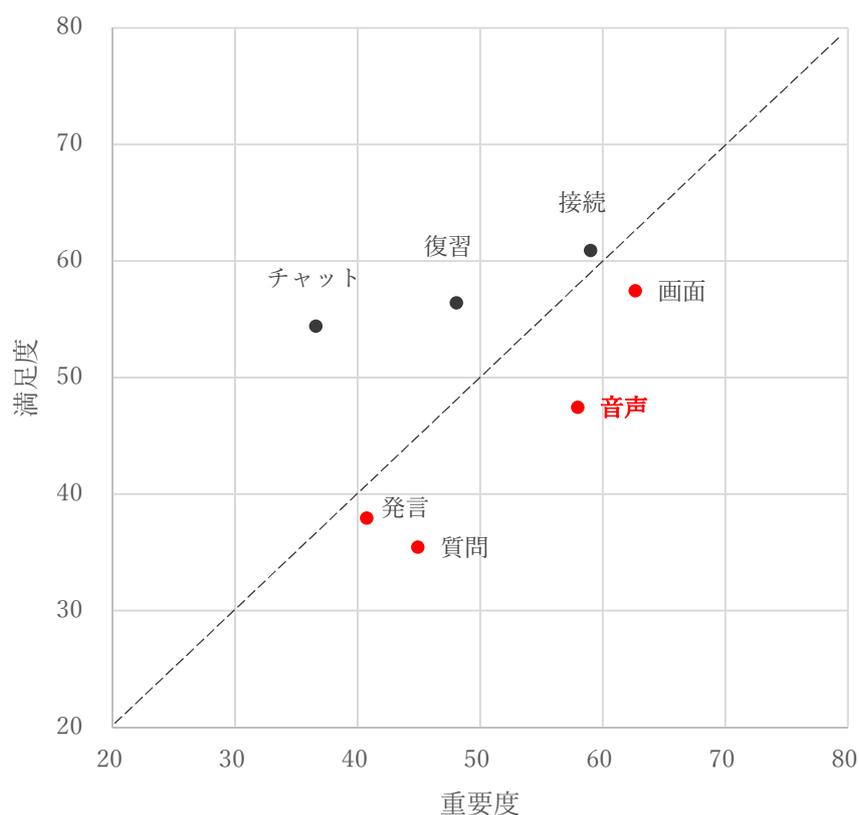


図3 蓮田キャンパス__CS グラフ

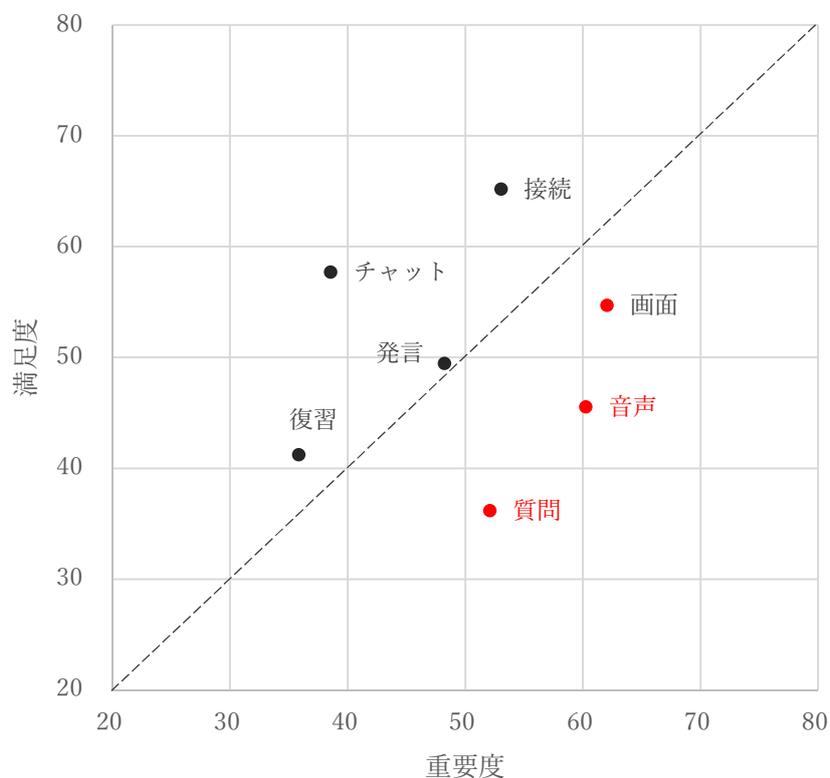


図4 岩槻キャンパス_CSグラフ

参考：改善すべき項目の優先順位については下の改善度指数も参考指標とすることができる。値が大きいほど改善の優先順位が高い。（対角線を利用した改善項目の抽出よりも詳細に検討することができる）

表5 蓮田 改善度指数

項目名	改善度指数
音声	10.7
質問	5.4
発言	1.8
画面	-1.8
接続	-3.2
復習	-3.8
チャット	-10.1

表6 岩槻 改善度指数

項目名	改善度指数
質問	13.6
音声	10.8
発言	3.0
復習	2.1
チャット	-6.1
画面	-10.6
接続	-13.6

※改善度指数：

図3、図4の原点（中央）から各項目までの距離と原点（中央）より右斜め下45度に引いた直線から各項目までの角度を求め、それら2つを乗じた数値。

その他

(1) オンライン授業に主に活用した端末

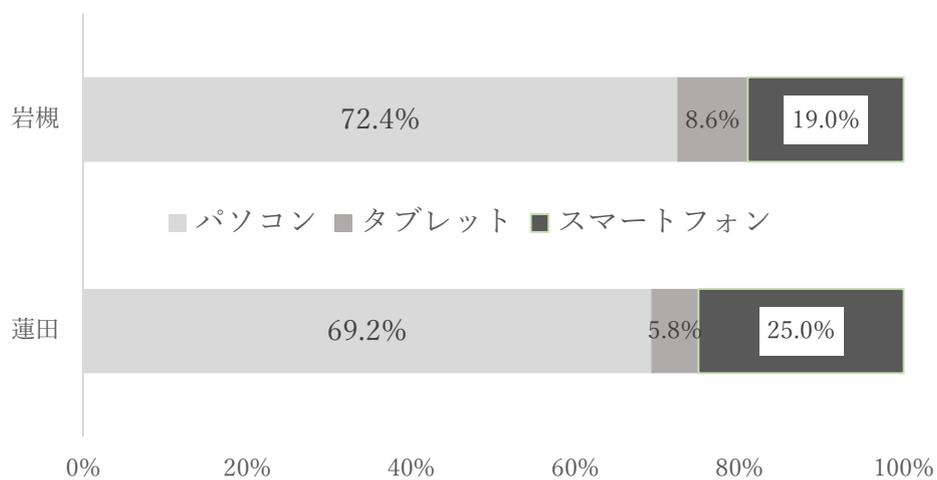


図5 主に活用した端末 (n=430)

(2) 総合評価3項目の集計

【満足度】ZOOMでのオンライン学修についてどのように感じましたか
(CS分析に活用した総合評価)

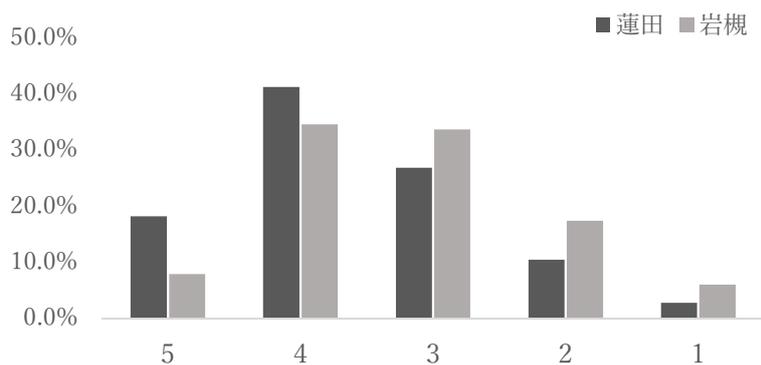


図6 満足度 (n=430)

【学びやすさ】教室で行われる通常授業に比べてどうでしたか（2.3.4年生のみ）

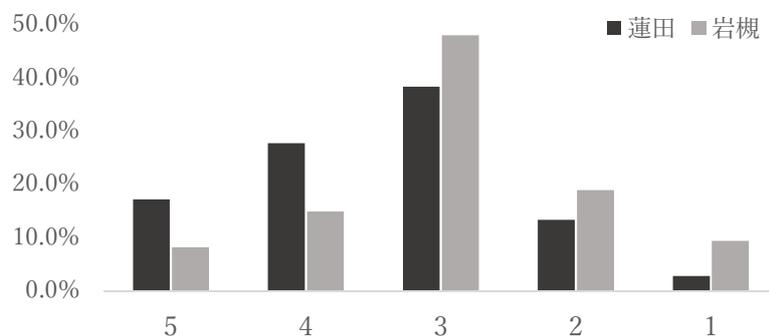


図7 学びやすさ (n=411)

※蓮田では対面授業が始まっていたため1年生の回答も含まれている

【理解度】授業の理解度について

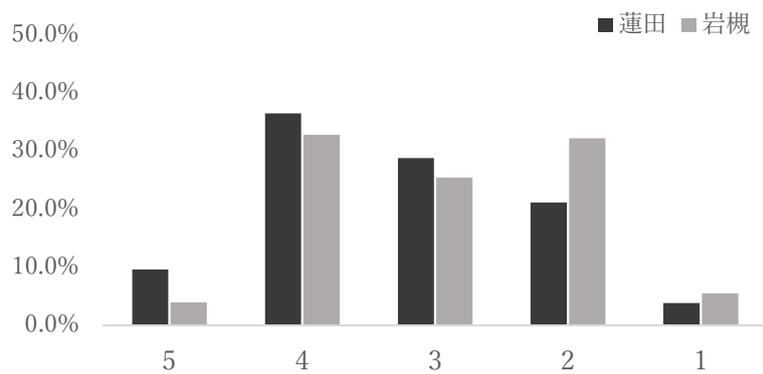


図8 理解度 (n=430)

(3) ZOOM 授業のはやさについて

両キャンパスとも授業のスピードがおそいと感じた学生はわずかであった。

【時間】 ZOOM 授業のはやさについてどのように感じましたか

※5がはやく感じた、1が遅く感じた

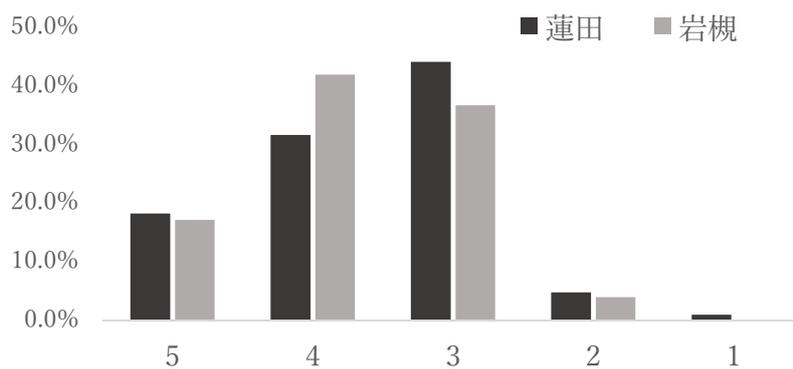


図9 ZOOM 授業のはやさ (n=430)